

令和7年 **11**月の**思いやり**通信

(1) 曲がる太陽電池、2030年度量産

リコー、インクジェットで9万世帯分

パナHD、ガラスと一体化

*リコーは薄くて曲がる「ペロブスカイト太陽電池」の新製法の開発に取り組んでいます。

*印刷機に使われる「インクジェット」技術を駆使したのが特徴。

*「ペロブスカイト太陽電池」：薄くて軽いため、折り曲げたり窓や壁といった建材と一体化させたりすることができます。

*リコーは2030年度に約9万世帯分の年間消費に匹敵する300メガ（メガは100万）ワット以上のペロブスカイト太陽電池を生産できる体制を確保し、販売します。

*パナソニックホールディングス（HD）もインクジェットに着目。

*建築用ガラスに対応した独自の「大面積塗布法」を開発。

（2025年10月9日 日本経済新聞記事より抜粋）

(2) CO₂を固体に 貯留の新方式

脱炭素へ2030年代実用化

*二酸化炭素（CO₂）を固体の鉱物にして地下に貯留する技術が2030年代半ばの実用化に向けて動き出します。

*九州電力などは「CO₂鉱物化」と呼ぶ方式で、地下でマグマが固まってできた火成岩が含むカルシウムなどと反応させ、固体の炭酸カルシウムにします。

*アイスランドでは既に実用化しています。

（2025年10月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

